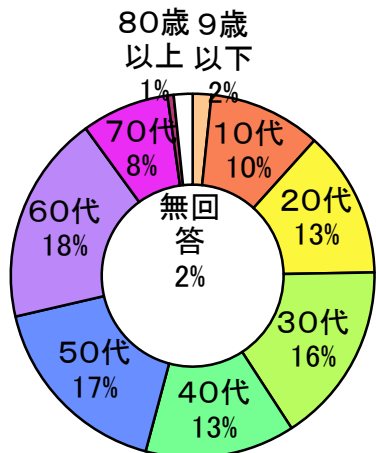


「ベルリンの至宝展」 アンケート集計結果

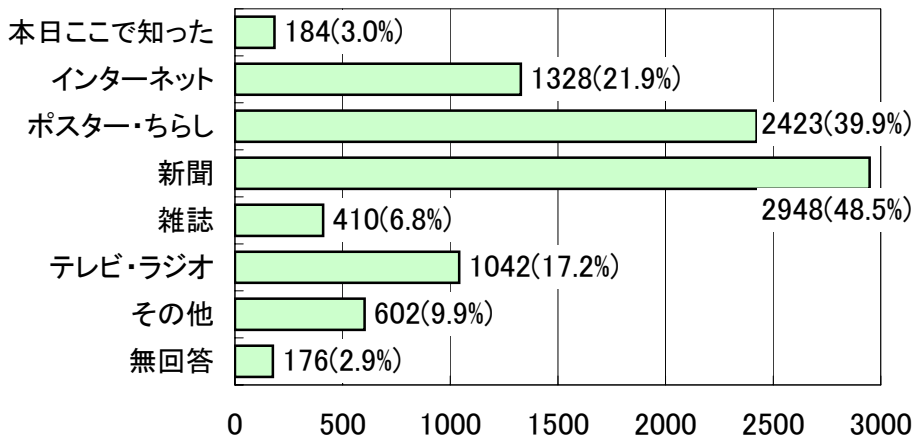
開催期間:平成17年4月5日(火)～6月12日(日)

総回答者数:6,074人(入館者数 337,475人 回収率 1.7%)

①年齢



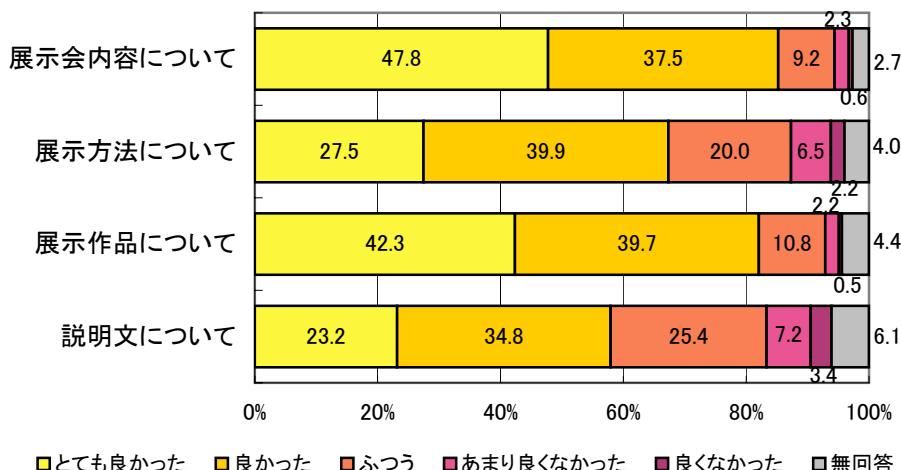
②認知経路(複数回答)



③印象に残った作品

- 1位 IX-130 ヴィーナス (560人)
- 2位 IX-134 聖母子(コロンナの聖母子) (341人)
- 3位 III-38 ライオンの装飾煉瓦壁 (222人)
- 4位 X-162 温室にて (182人)
- 5位 X-144 岩場に建つゴシックの大聖堂 (176人)

④展示に関する満足度



⑤主な意見・感想

- ・ラファエロやエジプトのレリーフなど、教科書でしか見たことのないものを間近で見ることができ良かった。(20代・会社員)
- ・とても良い展覧会で、機会があればベルリンの博物館島を訪れてみたいと思いました。(30代・会社員)
- ・美術史の流れが理解できた。特に日本史との比較年表が掲示されており、文化の比較ができた。(50代・教員・公務員)
- ・内容が多岐にわたりすぎて、かえって面白みや盛り上がり欠ける展示になっていた。(60代・その他)
- ・ヒエログリフや楔形文字の訳文があれば、もっとよかったと思う。何と書いてあるか知りたかった。(40代・教員・公務員)
- ・キャプションがもう少し大きければ良いのに、と思うところが数箇所あった。人が多く訪れるのだから、遠目に見ても見やすくなればより良いと思う。(20代・大学生)

本展覧会は、ドイツ国外初出品の作品を含めたベルリン国立博物館群のコレクションが展覧されたこともあり、多数のお客様をお迎えし、展覧会の内容についてはアンケート回答者中約85%の方に好評をいただくことができました。印象に残った作品として、中世以降の絵画に加えて、バビロニアの装飾煉瓦壁が上げられているのは、幅広い興味の方々にご満足いただけた結果ではないかと思っております。

展示方法・説明文に関しては「徐々に良くなっている」とのご意見をいただく一方で、「説明文の文字が小さい」「展示品の位置が高すぎる」などのご指摘も少なからずいただいております。

貴重なご意見をお寄せ頂きありがとうございました。今後もご協力をよろしくお願い致します